

開会の挨拶と趣旨説明 : 何燕生(郡山女子大学)

発表① 14:05~15:35



京都大学人文科学研究所における禅研究
—柳田聖山の業績を読み直す—
何燕生(郡山女子大学)

『正法眼蔵』はどのように英語に翻訳されたのか?
Wittern Christian(京都大学)

世阿弥と禅—『宗鏡録』が能楽論にもたらしたもの
重田みち(同志社大学宮廷文化研究センター)

～休憩（10分）～

発表② 15:45~16:45

一休研究の最前線—禅学と地政学の観点から—
飯島孝良(花園大学国際禅学研究所)

現代新儒家哲学における禅思想
—禅とウイットゲンシュタインを最初に結びつけたのは誰か—
齋藤智寛(東北大学)

質疑応答 16:45~17:00

閉会の挨拶 : Wittern Christian(京都大学)

総司会 : 古勝隆一(京都大学)

禅研究の「いま」

2025年10月4日(土)14時~17時(入場開始13:30)

zoomウェビナー併用開催

・オンライン参加:下記URLもしくは2次元コードからご登録ください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_RyvZah2fSoC2aYBGdzlfQg

・対面参加:事前の申し込みは不要です。当日直接会場までお越しください。

会場:京都大学人文科学研究所本館4階大会議室(吉田キャンパス)

主催:京都大学人文科学研究所

共催:科研基盤(B)24k00013「禅の言葉と翻訳に関する学際的研究

—『正法眼蔵』の諸外国語訳の比較分析を通して」

お問い合わせ:京都大学人文科学研究所 総務課

Tel:075-753-6902(平日9:00~17:00)

